

# 代理店に重要な事故処理

## お客様の理解得るのにひと苦労

損保代理店にとって重要な業務に事故の処理があります。信頼強化の見せ所とまで大袈裟でなくとも、お客様の期待にはできる限り応えたい思いは、契約時よりもより顕著に表れます。代理店は、お客様の立場で事故の対応ができる唯一の存在ですから当然かもしれません。

しかし、損保には保険会社の査定がつきもので、最初の対応にまなならない場合もしばしばあります。

生保は入口で、損保は出口でと言われるように生保は契約時(入口)で引受のリスク判断(損保)を行うところの査定を求むるという点で、給付金請求は一定のルールで手配が可能です。

対して、損保は保険事故が発生した段階(出口)で査定を行うため、全体を把握したアドバースが複雑なケースがあります。

自動車の対物事故(相手)

【独自の事故サービス】

火災や賠償(水漏れなど)の事故においても、火災や賠償(水漏れなど)の事故においても、謝を申し上げたいと思いがります。

お客様をはじめ、弊社を支援してくれている社員、またご支援いただいているメーカーの社員の方々に、今後の自分自身や弊社にたいして大変有意義な情報交換をさせていただいたり、新たな気付きを

支えてくれた人たちに感謝

き、今後の自分自身や弊社にたいして大変有意義な情報交換をさせていただいたり、新たな気付きを

支えてくれた人たちに感謝

「ほけん」「あんしん」「50音語了の「ん」」

株式会社一期(いちご)保険事務所  
代表取締役 石井 裕二  
HP▶http://homepage2.nifty.com/ichigo/

# 原状回復と査定に差異 代理店と連携する鑑定会社も

原状回復の費用と保険会社の査定に差異が生じて、お客様(賠償であれば被害者)の要望通りに保険金をお支払いできないケースも発生します。被害にあったお客様は、修理するならば完了を求めたいのが当然の心理です。

たとえば、壁のクロスや天井などの被害の場合、被害箇所のみを修復すると、真新しい修復部と、古く色あせた箇所が混在してしまい、見た目には不自然な修復となってしまいます。

また、壁のクロスや天井などの被害の場合、被害箇所のみを修復すると、真新しい修復部と、古く色あせた箇所が混在してしまい、見た目には不自然な修復となってしまいます。

また、壁のクロスや天井などの被害の場合、被害箇所のみを修復すると、真新しい修復部と、古く色あせた箇所が混在してしまい、見た目には不自然な修復となってしまいます。

また、壁のクロスや天井などの被害の場合、被害箇所のみを修復すると、真新しい修復部と、古く色あせた箇所が混在してしまい、見た目には不自然な修復となってしまいます。

今年もたくさんの刺激を受けて帰ってきました。これからの営業活動に大いに活かして来年度もぜひこの表彰式に参画するメリットの一つです。

現代人のカルテ

知っておきたい「病」の話

社会医学環境衛生研究所 谷 康平

264

# 今年40度越えも 珍しくない...

平成23年の夏、あれほど暑い状態に陥っていた「節電」が、今や「節電」が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。

平成23年の夏、あれほど暑い状態に陥っていた「節電」が、今や「節電」が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。

平成23年の夏、あれほど暑い状態に陥っていた「節電」が、今や「節電」が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。

平成23年の夏、あれほど暑い状態に陥っていた「節電」が、今や「節電」が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。節電が当たり前になりつつあります。

# 我慢や節約よりも 「体調」管理を第一に

節電も大事ですが、エアコンの使用を控えて、体調を崩すことは避けなければなりません。特に高齢者や病気で体力が衰えている人はなおさらです。気分が悪いと感じた時にはすでに熱中症になりかけている状況です。大丈夫だと思っても決して我慢や節約などせず快適な室温維持、そして水分補給を怠ってはいけません。

節電も大事ですが、エアコンの使用を控えて、体調を崩すことは避けなければなりません。特に高齢者や病気で体力が衰えている人はなおさらです。気分が悪いと感じた時にはすでに熱中症になりかけている状況です。大丈夫だと思っても決して我慢や節約などせず快適な室温維持、そして水分補給を怠ってはいけません。

節電も大事ですが、エアコンの使用を控えて、体調を崩すことは避けなければなりません。特に高齢者や病気で体力が衰えている人はなおさらです。気分が悪いと感じた時にはすでに熱中症になりかけている状況です。大丈夫だと思っても決して我慢や節約などせず快適な室温維持、そして水分補給を怠ってはいけません。

節電も大事ですが、エアコンの使用を控えて、体調を崩すことは避けなければなりません。特に高齢者や病気で体力が衰えている人はなおさらです。気分が悪いと感じた時にはすでに熱中症になりかけている状況です。大丈夫だと思っても決して我慢や節約などせず快適な室温維持、そして水分補給を怠ってはいけません。

# 節電も大事だが熱中症には十分注意を

節電も大事ですが、エアコンの使用を控えて、体調を崩すことは避けなければなりません。特に高齢者や病気で体力が衰えている人はなおさらです。気分が悪いと感じた時にはすでに熱中症になりかけている状況です。大丈夫だと思っても決して我慢や節約などせず快適な室温維持、そして水分補給を怠ってはいけません。

節電も大事ですが、エアコンの使用を控えて、体調を崩すことは避けなければなりません。特に高齢者や病気で体力が衰えている人はなおさらです。気分が悪いと感じた時にはすでに熱中症になりかけている状況です。大丈夫だと思っても決して我慢や節約などせず快適な室温維持、そして水分補給を怠ってはいけません。

節電も大事ですが、エアコンの使用を控えて、体調を崩すことは避けなければなりません。特に高齢者や病気で体力が衰えている人はなおさらです。気分が悪いと感じた時にはすでに熱中症になりかけている状況です。大丈夫だと思っても決して我慢や節約などせず快適な室温維持、そして水分補給を怠ってはいけません。

節電も大事ですが、エアコンの使用を控えて、体調を崩すことは避けなければなりません。特に高齢者や病気で体力が衰えている人はなおさらです。気分が悪いと感じた時にはすでに熱中症になりかけている状況です。大丈夫だと思っても決して我慢や節約などせず快適な室温維持、そして水分補給を怠ってはいけません。